

北陸新幹線敦賀以西ルート

与党検討委に滋賀選出議員

北陸新幹線の敦賀以西ルートを検討する与党委員会のメンバーが30日までに決まった。当初案では小浜ルート沿線府県の議員だけだったが、湖西や米原ルートに関係する滋賀県の議員も加わることを稲田朋美政調会長（福井1区）が同日の記者会見で明言した。敦賀以西の未決定ルートは3案あるが、1973年

の国の整備計画には「小浜市付近を通って大阪に至る」とあり、高木毅委員長（福井2区）は当初、沿線の福井、京都、大阪、富山、石川の各府県と公明党から1人以上が参加する検討委の構想を固めていた。だが湖西や米原ルートを目指す滋賀の議員が猛反発。検討委の上部組織にあたる整備新幹線建設推進ア

ロジェクトチーム座長の稲田政調会長と、高木委員長らが協議し、大岡敏孝衆院議員（滋賀1区）を加えることで合意した。稲田氏は30日の会見で「財源がかかると、多くの立場の人の意見を聞いて公正に議論を進めるのが重要だ」と説明した。初会合は8月5日か6日で調整している。京都からは自民党の西田昌司参院議員、公明党の竹内譲衆院議員が委員となる。

（相見昌範）